

研究助成

財団法人天文学振興財団研究助成

国立天文台の事業支援を通して天文学の振興を図る財団が発足し、1994年度の研究助成を行います。下記の要領で希望者を募集します。

なお、当財団では天文学に関する広報普及活動や国立天文台関連の国際交流支援のための事業計画もたてています。財団を支えて下さる賛助会員(1口20万円/年)を広く民間から募っていますので、ご協力をお願いします。

記

1. 対象：天文学に関連する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者。原則として35歳以下。
2. 助成：1件 100万円。選考委員会で審査の上、12月頃に交付の予定。年度末には報告書を提出していただきます。
3. 申請：申請書は事務局あて封書(返信用封筒・長型3号を同封のこと)により請求して下さい。
申請書の提出締切は10月30日必着
4. 問い合わせ先：財団法人天文学振興財団事務局
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
Tel : 0422-34-3659 Fax : 0422-34-3690

研究会・集会案内

国立天文台一般公開のお知らせ

1994年の国立天文台三鷹地区の一般公開は11月12日(土)10時～19時に開催することが決まりました。今年「宇宙を見る新しい目」(仮題)をテーマとして、さまざまな新しい観測技術を紹介いたします。また、大変話題になった「彗星の木星への衝突」についてもとり上げます。講演会会場には近くの羽沢小学校体育館をお借りすることができました。上記のテーマを中心に魅力的なスピーカーを揃えたいと思います。

今年はまだ、初めて午前中から公開いたします。ぜひ構内を散歩していただき、樹木の緑を楽しんでいただきたいと思います。

このほかにも天文台で一日遊んで行っていただけるように企画をすすめております。

詳細は広報普及室(0422-34-3644)にお尋ねください。
神田 泰(国立天文台)

共同利用・共同研究

平成7年前期(1～6月)国立天文台
岡山天体物理観測所の共同利用観測

以下のとおり公募いたします。詳細は、下記提出先または観測所へお問い合わせ下さい。

1. 共同利用機器：188 cm 望遠鏡, 91 cm 望遠鏡, 65 cm 太陽望遠鏡
2. 利用期間：平成7年1月～6月
3. 申込資格：国・公・私立大学および国・公立研究所等の研究者、又はこれに準ずる者(大学院博士課程在学者を含む。)
4. 申込方法：既定の観測申込書により2部提出
5. 申込締切：平成6年10月1日(土)必着
6. 提出先：〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町
岡山天体物理観測所共同利用係
電話 08654-4-2155
封筒に「岡山観測申込書在中」と朱書のこと
7. 機器一般の問合せ：
〒719-02 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-8
国立天文台岡山天体物理観測所 前原英夫
電話 08654-4-2155

第4回重力波天文学シンポジウム

- 主催 文部省科学研究費重点領域研究
「重力波天文学」総括班
- 日時 1994年10月5日(水)～7日(金)
- 場所 国立天文台講義室(〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 電話 0422-34-3694)
- 内容 研究成果報告(20 mFP 干渉計, 100 mDL 干渉計, 超高性能レーザー, 干渉計要素技術, 重力波発生の理論, 他), 重力波天文学の今後の研究計画
- 連絡先 国立天文台 藤本真克(〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1)
電話 0422-34-3622 Fax 0422-34-3793
e-mail : fujimoto@gravity.mtk.nao.ac.jp

94年度光天連シンポジウムのお知らせ

今年度は以下の要領で光天連シンポを開催いたします。発表を希望される方は早めに世話人まで御連絡下さい。

- テーマ 2020年の光赤外天文学
一地上とスペースからの観測一
- 日時 11月16日(火)～18日(金)
- 場所 西はりま天文台公園
- 趣旨 昨年の光天連シンポでは、すばるによるサイエン

スについてかなり突っ込んだ議論を行いました。その際、すばるとの共同あるいはポストすばるという観点から、スペースからの観測に大きな関心もたれ、次は将来のスペースからの観測についても議論したいという希望がだされました。今年はそれを受けて地上とスペースからの観測という内容にしました。折しも、国の宇宙開発委員会が今後30年間の宇宙開発の長期ビジョンを報告し、宇宙開発政策大綱を年内に改訂するとの報道があったばかりで、こちらも負けずに2020年の光赤外天文学とちょっと大胆なタイトルにしました。

現在、日本では地上での光赤外の観測装置としてすばる望遠鏡が建設段階にあり、スペースではIRISが計画段階にあります。また、ISOによる観測も近づいています。我々は、地上とスペースそれぞれでの観測の特徴を考慮しながら、それぞれでどういうサイエンスを進めるべきか、地上とスペースでどう協力関係を持つべきなのか更に議論を進めたいと思います。

また、これら進行中の計画について議論の後、ポストすばるポストIRISについて議論を持ちたいと考えています。宇宙望遠鏡、月面天文台等スペースからの観測提案だけでなく地上での次期大計画等、若い人にも夢のある議論をもてればと考えています。すばるやIRISではまだ切り開くことのできないサイエンスはこういうものだからこういう装置が必要といったサイエンスからの要求はもちろん、こんな技術が可能だからこんな面白いことができるといった提案も大歓迎です。

ともに21世紀の天文学について語りあいましょう！

プログラム案

1. イントロ 地上とスペースからの観測のメリットデメリット
2. 進行中の計画
 - ・すばる・SDSS・ISO・IRIS 等
3. ポストすばる ポストIRIS
 - ・地上干渉計・液体大望遠鏡・南極観測所
 - ・スペース望遠鏡（大口径化, warm launch, コロナグラフ）
 - ・月面天文台 等々

世話人

SOC：芝井 広(宇宙研), 中川貴雄(宇宙研), 出村元秀(国立天文台), 山田 亨(理研), 佐藤康則(東北大), 松原英雄(名古屋大), 太田耕司(京大, 代表世話人)

LOC：西はりま天文台公園, 太田耕司

第27回日本アマチュア天文研究発表大会

日時：1994年10月23日(日)9:00~20:30

会場：〒730 広島市中区基町5番83号

広島市こども文化科学館 Tel 082-222-5346

事務局：〒731-51 広島市佐伯区五日市町美鈴園 22-9

瀧本宏壮方

第27回日本アマチュア天文研究発表大会事務局

Tel 0829-23-1042

参加申込：事務局までお問い合わせ下さい。

諸費用：参加費 一般と大学生 1,500円、

高校以下無料

昼食弁当(要予約) 800円；懇親会費(同) 6,000円

研究集録(送料込) 1,500円；記念写真(同) 1,500円

木星と彗星(SL-9)衝突に関する情報交換集会

日時：1994年10月22日(土)13:00~18:00

会場：〒730 広島市中区加古町4番17号

アステールプラザ4F大広間

事務局：〒170 東京都豊島区北大塚2-33-19

木村精二方

日本アマチュア天文研究発表大会運営委員会

(委員長：正村一忠)

事務局 Tel 03-3917-6966

参加費：無料

当日12:50に会場までお出下さい。

その他：木星とシューメーカー・レヴィ第9彗星衝突の情報交換を計画しました。木星・彗星の研究、観測者および、公私天文台で普及活動や観測をして居られる方々の参加をお待ちしています。

訃報

本会元理事長 坪川家恒氏には、去る8月25日午前10時30分、急性肺炎のため逝去されました。(享年76歳)

謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせいたします。

編集委員 谷川清隆(編集長), 坂尾太郎, 田代 信, 中川貴雄, 中村 士, 濱部 勝, 林 左絵子, 半田利弘
 平成6年9月20日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
 定価700円(本体680円) 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 電話 (0422)31-1359 (FAX自動切換) 振替口座 東京 6-13595